

健康優良企業インタビュー

伯東A&L株式会社



【企業情報】

設立 2003年1月10日
所在地 東京都新宿区
業種 物流受託事業
従業員 51人

平成30年9月 健康企業宣言開始
令和元年10月 STEP1(銀)認定※ (STEP2現在取り組み中)
令和5年 3月健康経営優良法人(中小規模法人部門)認定※
(※毎年認定更新中)



お忙しい中インタビューにご協力いただきありがとうございました。



代表取締役社長
新徳 布仁さん

健康経営をはじめたきっかけは?

当社は平均年齢が高いことから、まずは病気の早期発見のため健康診断の受診率100%を目指しました。その後、一時的に長期傷病者が増えたことで健康維持増進への取り組みの必要性がますます高まりました。もう一つのきっかけは、平成27年の「ストレスチェック」の義務化により、メンタルヘルスの大切さを感じたことです。また、「健康経営優良法人」認証取得により、人材募集時にはアピール度が高く応募者へのイメージアップにもつながると考えました。

取り組みのなかで工夫された点は?

心身ともに元気に働くためにも、十分な休息を取り仕事に取り組んでもらいたいと考えておりますが、現業職中心という職種柄、休暇を積極的に取得する社員が少なく、休みを取りづらい環境になっていました。そこで有給取得率80%を目標に月1回計画を立てて休みを取る「計画的有給取得促進」という取り組みを導入し、休みが取りやすい環境になりました。

一方、職場のストレス緩和策としては、パート、契約社員など雇用形態が様々な中、社内のコミュニケーション活性化が重要と考え、部署内での定期的なミーティングを実施し、情報の共有や意見交換の場を設けました。また、当社は半導体、電子部品関係の物流業務を行っておりますが、自分たちの仕事の意義を知ってもらうため、それらの製品が「どこで、どのように、何に使われているのか」を知る勉強会も行いました。自分たちが出荷した様々な製品が日常生活を支えているという事を身近に感じ、仕事に対するモチベーションや有意義感の向上にもつながりました。



管理サービス部
管理グループ
グループ長
牧野 佳奈子さん

管理サービス部
管理グループ
森 真由さん

取り組みを実践されて、良かったと思われる点は?

2018年度から社員自ら健康課題を見つけ、自己主体で取り組んでもらえるように3か月間の「健康チャレンジキャンペーン」を企画し実施してきました。当初の参加率は6割程度で、参加者も積極的な方は少ない状況でした。しかし、毎年継続した結果、運動習慣が身についた方が増える等の良い効果が得られ、アンケートでは、「参加してよかった」「また参加したい」「企画してくれてありがとう」など感謝の言葉も年々もらえるようになりました。企画側が熱意をもって伝えていくことで、その気持ちが社員にも伝わり、嬉しい声を聞くことが出来たと思っています。

今後の展望は?

基本的なことですが、健診受診率100%の維持、二次検査や特定保健指導において病気の早期発見、早期治療と生活習慣の改善を行うこと、社員が元気でより長く生き活きと働ける環境づくりをしていくことが重要だと考えています。また、「健康経営優良法人」プライト500の取得を目指しております。これら一つひとつの取り組みが、社員の働きがいやモチベーションアップにもつながると考えております。

取り組みの
一部を
ご紹介します



「健康チャレンジキャンペーン」
キャンペーンを通して健康に対する
意識を高める



「健康チャレンジキャンペー
ン」で達成された方
へ「達成賞」贈呈



朝のラジオ体操の様子